

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2012年4月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2012年 4月1日発行 通巻228号(毎月1回発行)

千葉県連盟 第46期総会終了

県連盟活動に参加しよう

4月号目次

4月号目次		2
第46期定期大会報告	広木 国昭	3
新年度ご挨拶	理事長 吉田 哲治	4
	会長 広木 国昭	4
	会計 小林 康男	5
	ハイキング委員長 桑原 年一	5
総会議長報告	松戸山の会 細谷 俊之	6
	渡辺 敦子	6
総会出席感想	シリウス山の会 高原 加代子	7
花博士の花便り	ふわくHC 中原 記代治	8
私のトレーニング山行	市川山の会 吉澤 重克	9
全国クリーンハイクアピール	全国連盟	10
関東ブロック自然保護集会	東葛山の会 栗山 孝市	11
県連クリーンハイクのお知らせ	菅井 修	12
第23次災害支援報告	吉田 哲治	13
ボランティア感想文	船橋山の会岩元崇ご子息 吉田 隼(小4)	13
ボランティア活動報告	ちば山の会 村尾 憲治	14
「ちば労山ゆう」発足お知らせ	ちば労山ゆう理事長 吉田 哲治	17
県連たより		19
県連予定表		20

表紙説明

他団体のボランティア活動に個人で参加しています。今回は、3. 11の追悼イベントの準備のお手伝いに参加しました。

3. 11 18:00 からの釜石駅前の追悼キャンドルナイトの支援をしました。
表紙は、その時のキャンドルです。2012. 3. 11のキャンドルが印象的です。

ちば山の会 村尾 憲治

2012年度(第46期)定期総会報告

千葉県連盟 会長 広木 国昭

千葉県連盟定期大会が、3月5日(日)21会より代議員・傍聴者・役員、約100名の参加で開催されました。すでに各会では、代議員・県連理事より報告が済んでいると思います。会員の皆様に参加・協力をお願いする重要事項について報告します。

◆ 第46期総会の目的と課題

- 1、山での事故は、絶対に起こしてはいけない。
- 2、組織強化に取り組み、楽しい会活動を実行しよう。
- 3、千葉県の豊かで美しい自然を守ろう。
- 4、理事会活動、委員会活動に積極的に参加して、県連盟活動を活発にしよう。
- 5、県連盟役員・全国連盟理事(3名)を積極的に選出し、活動を支えよう。

◆ 県連盟定期総会を、2年に1回に変更。(県連盟規約 第6条(1)の改正)

- 1、改正の主旨。
 - ① 総会后、理事会や委員会活動が軌道に乗るのは5月末になる。次年度総会準備は、11月末に開始し、12月で会計を締める。実質活動期間は約6カ月である。
 - ② 総会準備に費やす、時間、労力、費用は、役員と理事会には大きな負担である。
 - ③ 理事会活動も、2年間を見通し長期の活動が出来る。

◆ 個人会員制度導入について。

- 1、全国連盟の個人会員制度は、2010年の第29回総会で提案し2年間の全国討議を実施し、今年2月の第30回総会で賛成多数で可決された。

千葉県連盟は、2010年の第44期総会で個人会員制度の導入を決定した。

全国連盟の個人会員制度との整合性を持った制度とするために全国連盟個人会員制度導入の進捗に合わせるために実施を先送りした。

- 2、全国連盟の個人会員制度導入の基本的な行程について。

- ① 第1段階 (総会(2月)～6月)
 - ・ 個人会員制度実証活動参加受付け、3月1日開始。
 - ・ 入会ガイダンスと安全登山教育計画発表。
 - ・ 安全サポートセンター(山行管理センター)設置。
- ② 第2段階 (7月～8月)
 - ・ 7月はじめにマスコミ発表。
 - ・ 8月1日より、個人会員入会受付開始。
- ③ 第3段階 (9月～11月)
 - ・ 個人会員制度説明会・学習教育・各種イベントの開始

千葉県連盟の個人会員制度導入について

- ◆ 個人会員制度実証活動に参加する。詳細は4・5月理事会で討議する。
- ◆ 全国版制度を基本にして、千葉版個人会員制度の検討をすすめる。
- ◆ 県連内に、個人会員制度実施センターを設置する。

46 期を迎えるにあたって

理事長 吉田 哲治

第 46 期定時総会において、今年度も理事長を引き続き仰せつかることになりました。しかも、今期より定時総会は 2 年に 1 回の開催となりましたので、後 2 年お世話になります。よろしくお願い申し上げます。

昨年は 3 月 6 日の総会において初めて理事長の大役を仰せつかったのですが、その 4 日後にあの東日本大震災が発生し、その後は千葉県連としては災害支援に大きな力をさいてきたところであります。しかしながら、災害支援では顕著な活動ができたものの、本来の山岳団体としての活動が十分には行えなかったという感があります。その本来の山屋としての活動を今期は重点的に行っていきたいと考えています。もちろん、NPO 法人を立ち上げてまで災害支援活動を継続していきたいという決意でありますので、支援活動と山屋としての活動をバランスを取りながら行っていきます。

昨年は、支援活動を通して千葉県連の結束が強まった一年でした。その結束をより強固なものとするべく、各会の横断的な連帯を強めていきたいと思っています。具体的には、一つのきっかけとして沢登りのネットワークを構築していきます。沢登りを通して、各会がお互い切磋琢磨し、遡行技術や防御技術の向上、事故防止への取組み、安全登山への啓蒙など、県連という大きな枠組みのなかで取組むことで、会単独では成しえないものが見えてくると思っています。もちろん、沢ネットワークはあくまでひとつのきっかけに過ぎません。沢ネットの構築が波及効果をもたらし、各ジャンルの横断へとつながることができれば、と期待しています。

他にも、事故防止への全体的な取組み、自然保護活動等今期の抱負として具体的に考えていることはあるのですが、あまり大風呂敷を広げて引っ込みがつかなくなると困りますので、これぐらいの意見表明とさせていただきます。2 年間、よろしくお願い申し上げます。

☆☆

ご協力ありがとうございます

会長 広木 国昭

2011 年度は、災害支援を中心に県連活動に参加・協力を有難うございました。県連盟は、今年度も見える県連活動をテーマに取り組んで行きます。総会が、2 年に 1 回になり重要事項には、会員の声を反映して取り組んで行きます。

最重点課題は、①事故を起こさない。どんな小さく軽い事故でも起こさない。②楽しい会活動が出来る会の建設。③個人会員制度をスタートさせる。全て、簡単には行かない。皆様の後押しを期待して頑張りたいと思っています。

全国連盟の仕事も増えましたが、何よりも所属会、ちば山の会・千葉県連盟の活動を最優先し、足を地に付けて皆様からの厳しいご意見を楽しみにしています。

会 計 挨 拶

まつど山翠会 所属
小林 康男

引き続き会計を担当することになりました、まつど山翠会所属の小林です。
よろしくお願い致します。前年度、初めて会計の任につき、最初は分からないことだらけで、役員の皆様に支えられて、ようやく1年を乗り越えることが出来ました。

さて、1年間会計をやって感じたことは、自由に使えるお金が意外と少ないということです。全国連盟費や家賃等の固定的な経費が出費の半分以上を占め、年間170万円ほどでやりくりしているのが現状です。
そのため予算面で、メリハリのある活動がなかなか出来ていないのではないのでしょうか。

また、以前は私も感じていましたが、会員の納めた年3,600円の会費がどのように使われているのか見えてこない不満がありました。その点からも、これからは県連会計の現状を皆様に理解していただけるよう資料の開示や報告の充実を図っていきたいと思っています。

今期より県連も2年体制となり、活動の視点も広がってきました。「沢ネット」や「NPO」など新しい活動も動き出してきました。その意味で1人でも多くの会員の皆様がそうした活動に参加していただくことが、会費の使われ方を知っていただける手っ取り早い方法でもあるわけです。

この1年お金の使い方が見える会計に徹していきたいと思います

総会感想・報告

ハイキング委員長 桑原年一（記）

総会無事に終了おめでとうございます。三役は資料集めから、編集、印刷と一年中取りかかっている状態で、本当にご苦労様でした。

私など一委員長で同じ事の繰り返しでそれ程でもありませんが、それなりに苦痛でした。今度は二年になったので少しは楽になった様ですが、二年となると役員は其れまで抜けることが出来なくなり、またまた大変な事の様になります。

ですが今度は総会に捕われずに他の事に多少なりとも専念出来て良いのではないかと思います。会員みんなで総力あげて良い県連になる事に邁進しましょう。

県連盟総会報告（議長）

松戸山の会 細谷俊之

県連の総会には一昨年に、代議員として出席しただけ。そんな私が「議長？」チョット躊躇したが、思い切ってお引き受けした。

私の担当は前半の活動報告と会計報告であったが、ほぼ予定通り、拍子抜けする位何の問題もなく終わった。「ホッ」とした反面、趣味の会なのだからこそ、忌憚のない意見、多少の喧喧諤諤があっても良かったのではと感じた。そして来期の役員が今期と全く同じ、懸案の事務局長不在も解消されなかったという状況に、将来への不安を感じざるを得なかった。我が「松戸山の会」も全く同じ状況にあり、高齢化がドンドン進行するなか「如何に県連（会）活動を活性化するか？」が緊急の課題であるとの認識を新たにした。
有意義なひと時を有難うございました。

松戸山の会渡辺敦子

一年ぶりの県連総会に出席して懐かしさを感じました。せっかく議長をさせていただいたのに意見もあまり出ず拍子抜けした感じです。

人事も事務局長や事務局不在という緊急事態が2年間も続くようで、各会で何とか順番にでもお手伝いできないものかと思います。

今年が目玉の規約改正と個人会員制度・・・

ここに事務局をもっと厚くしないとまた自転車操業状態になってしまうようです。次の総会では事務局長が選出できることを祈るのみです。役員の皆さん、各会理事の皆さん、お疲れ様でした。

毎年中々決まらず、総会当日になってやっと決まった事もありました。毎年、難航する議長・書記選出が、今年は極めてスムーズに決まりました。

議案書が出来て、議長・書記が決まれば総会は終わった様なものです。こんなに安心して総会をむかえたのは役員になってはじめてです。ぜひ、次回もお願いしたい。

改めて、議長の松戸山の会の細谷さん・渡辺さん、書記のこまくさHCの辺見さん・大月さんに感謝申し上げます。

議事運営がスムーズに行って、質問・意見も少なかったように思います。議長さんの見せ場が無くて物足りなかったのではないのでしょうか。

毎回選出には時間がかかり、当番制にしては、くじで決めては等の意見もあります。個人的には、神聖な総会の議長をくじで決める、当番で回すなどには賛成出来ない。

先日、宮城県連盟の総会に出席する機会がありました。総会議案書の表紙に（主管・りんどうハイキングクラブ）とありました。議長・書記・受付・懇親会など総会の全てを主管の会で担当するとの事でした。

ちょっと参考にして考えて見たい。

編集者（広木 国昭）

県連総会に出席して

松戸シリウス山の会 高原加代子

今回初めて総会に出席させていただきましたが、当日の会場は想像していたよりずっと活気と熱気でむんむんしていました。千葉労山会員 778 名の 1 割の方が、各山の会を代表して集まっているパワーを感じました。

色々な部会があり、意欲的に活動しながらも、会員全体がだんだんと歳をとり、活動の中身も変わらざるを得ない様子がよく分かりました。35 年前の設立趣意書を興味深く読ませていただきましたが、特に第一番の「権利としての登山」の項の書き出しに感動しました。少し古臭いと思うこの項目が、今また新しい問題として目の前にあります。

決められた席が最前列だったので、役員の方のお人柄までもが直に伝わり、石巻ボランティアの時にお世話になったいくつかの顔も見えて、仲間と繋がっている喜びを、また思い出していました。

配られた総会資料の数々から、準備の大変さを思いました。2 年に 1 回の総会になったことは、賢明な選択だし当然の流れでしょう。

役員はどなたも、いくつもの肩書を持ってお忙しくされている方ばかりだとお見受けしました。時間には限りがあり、自分の実績が本来の山登りでなく会運営の雑務をこなすことで積み上がっていく苛立たしさ、みたいなことは、他のどの団体に関わっても共通の悩みだろう、と私も常々思っています。縁の下の力持ちとしてご尽力下さっている方に、心からお礼を申し上げます。

会長の、事務所の掃除や資料の片づけに手が回らない、というお話を聞き、掃除くらいなら各山の会が輪番で受け持てばいいのに、と思っていたら、かがり火山の会の方も、千葉ニュースを通じて「事務局のお手伝い」を 6 カ月単位の輪番制で各会に依頼してはどうか、と活動報告欄に書かれており、今後検討されてはどうかと思いました。

最後の国土地理院の方の講演は、会場の前と後が逆になり、一番後ろで聴くことになり、私的には残念だったのですが良いアイデアだと思いました（単に映写スクリーンの関係だっただけかもしれませんが）。

皆さんの頭越しにお話を聴いていたら、気持ち良さそうに揺れている頭がいくつか見え、そのうち私も、記憶が途絶えがちになりました。有意義なお話を聴き逃したようで、1 円玉を使った 25,000 分の 1 の地図上での斜度の見方などは、松戸に帰ってシリウスの例会で、会の佐藤さんから聞いたような次第です。

東北支援の NPO を立ち上げ、これからの支援活動に多くの方が協力の意思表示をされていました。私も、心ばかりの賛助会員とさせてもらい、支援バザーでアクリルたわしを買って帰りました。どんなことも、新しい出会いというのは、気持ちを若く清々しくしてくれるものですね。

花博士の花便り。

ふわくハイキングサークル 中原 紀代治

桜（バラ科サクラ属）

今年は、寒いので全ての開花が遅く、花の咲く時期で困っています。

4月花見は、桜（ソメイヨシノ）です。ソメイヨシノ（染井吉野）は、オオシマザクラとエドヒガンの雑種と言われ、江戸時代の末期に染井村（現在の駒込あたり）の植木職人が発見して種子では増えないので接木して増やし全国に広まったと言われています。

桜の種類は、多く、カワズザクラ、マメザクラ、カンピザクラ、シダレザクラ、ヤマザクラ、ソメイヨシノ、オオシマザクラ、ヤエザクラ、高山では、ミヤマザクラ、ミネザクラが咲きます。オオシマザクラの葉は、桜餅に使われます。その他、桜に見えない、ウワミズザクラ、イヌザクラ、シリウザクラが咲きます。これらから、園芸種が作られ、全国では、有名な桜の古木など名所が数多くあります。

シダレザクラの名所は、私が毎年行く、山武市の長光寺と妙宣寺の古木は、見応えがあります綺麗です。



長光寺のしだれ桜



上溝桜

（上溝桜）

ウワミズザクラは、名前と違い上向の白い穂咲きです。香りの良い若い花穂と未熟の実を塩浸けにした杏仁香（あんんにんご）は、新潟県では、食用として好まれます。また、黒く熟した実は、果実酒として美味しいです。

日光の湯元温泉付近に、ウワミズザクラと良く似たシリウザクラが、クリンソウの咲く頃に咲きます。

私のトレーニング山行

市川山の会 吉澤 重克

ここ 15 年近く月 1 回軽登山を行っていますが、大きなトラブルにはならなかったもののヒヤッとしたことは数回ありました。原因はちょっとした体力不足と地図読みの未熟さです。今回の題は私のトレーニング用の山についてです。

私たち「市川山の会」では難しい山は避け、主に東京近郊の低山に行き、帰りは温泉で楽しむことを主目的にしていますので、さほど体力を消耗することはありません。しかしどんな低山と言ってもミクロ的にみると危険箇所は多く、最終的には体力と読図力がものを言います。

高尾山の北側にあまり知られていませんが、北高尾山稜というかなり長い尾根歩きがあります。ここは以前から私のトレーニング場に行っているところで、登山者も少なく起伏に富んでいて、低い山ながら相当のコースです。

そもそものこのコースを知ったきっかけは、時陣馬山～高尾山に抜けるコースを歩いていて、途中堂所山まで来た時北高尾山稜に入るコース標識があり、知らないコースに興味をおぼえ、ここから下山しようと簡単に考えたのでした。陣馬から高尾のコースは何回も歩いているので、このときも地図は持たずに歩いていました。しかし歩いてみると多くのコブがあり、道も間違え、また登山者には会わないので聞くこともできず、日の短い秋でしたので少々焦って、やっとの思いで夕方に下山してきました。このとき地図をもっていなかったのが誤算の元でした。どんな低い山であっても初めての山は地図は絶対に必要だと思い知らされました。このとき以来当たり前のことですが、どんな山に行くにしても必ず 2 万五千分の 1 の地図は持参します。

2 回目は JR 高尾駅から歩いて八王子城址まで行き、そこから登り始めた。最初のピークは富士見台で 500m 強の高さで、40 分くらいで着くのですが、そこから北高尾の長い尾根を歩くわけです。この尾根は一つのピークを越えるとすぐ次にまた次のコブと言うようにかなり体力を消耗しました。これ以後ここはトレーニングの場として最高であるとわかり、その後難しい山に行く前は必ずここでトレーニングすることになっています。コースとしては高尾～陣馬のコースと堂所山で合流し、そこから高尾山に向かって歩き、最終的に高尾駅にきます。約 1 人で歩き続けても 5 時間くらいかかります。時には陣馬山に向かい藤野まで歩くこともあります。低山志向のかたには近場のトレーニング用山としてお勧めのコースです。

山からゴミをなくし、素晴らしい自然を守りましょう

——2012 年清掃登山・クリーンハイクアピール——

山を歩くとき、木々の芽吹きとさまざまな花、すばらしい景色を楽しみ、私たちは、山の自然から多くの恵みを受けとっています。そして、日常生活のストレスを解消するとともに、生きる喜びとエネルギーをも生み出してくれているのではないのでしょうか。

山歩きの途中にゴミが捨てられ、汚されているのを目の当たりにすると、山歩きの楽しみが奪われるのではないのでしょうか。

日本勤労者山岳連盟は、山歩き、登山を楽しむだけでなく、素晴らしい山岳自然を次世代に引き継いでいくために、山からゴミをなくすことは、私たち登山者が果たさなければならない大切な役割であると考えています。そのために、独自に「労山自然保護憲章」を制定し、山を汚さず、山に負担をかけない登り方を心がけ、壊れた登山道を整備するとともに、山や自然の変化を定期的に調査するなど山岳環境を守るための活動を行っています。

全国的な行動としては、6 月の第 1 日曜日（東北、北海道は 7 月）を全国いっせい清掃登山・クリーンハイクの日として、山からゴミを一掃する取り組みを行っています。

去年は、35 都道府県の地方組織で 551 の山岳会・山の会・クラブが 468 のコースで清掃登山・クリーンハイクに取り組みました。この行動には、一般参加の方々も含め 10,351 名が参加しました。そして回収されたゴミは 7.989 トン以上にも及んでいます。

今年も山の自然を愛し、登山を楽しむ登山者・ハイカーにも参加していただき、全国いっせいに清掃登山・クリーンハイクの行動をおこないます。

いつまでも楽しい山歩きができるように、登山者・ハイカーのみなさんにも下記のようなご協力と呼びかけます。

記

- 1、山からごみを一掃するためには、まずゴミは持ち帰ることです。捨てられているゴミを見つけたら拾って持ち帰ってください。お互いに「ゴミを捨てない、持ち帰る」ことを合言葉にして山歩きを楽しみましょう。
- 2、ゴミがなく、きれいになった山域でも油断は禁物です。清掃登山を日常的に心がけ、登山者・ハイカー、行楽客にゴミの持ち帰りをアピールしましょう。
- 3、すべての登山者・ハイカーが山と緑の番人・山岳自然を守る番人としての自覚をもって山歩きを楽しみましょう。

2012 年 6 月

日本勤労者山岳連盟

関東ブロック自然保護集会を成功させよう

東葛山の会 栗山 孝市
(前自然保護委員長)

各県連の自然保護を主とした運動が盛んになってきています。これは自然を守るという本来の人間性の表れであろうかと思います。

自然が傷ついた先には、何が待っているのでしょうか。空気の汚れ・温暖化・海水面の上昇・異常気象などにより我々の生活が脅かされてくると思います。いや、現に始まっているかもしれません。

私たち登山者は、登山道以外は歩かないようにしましょう。コースを外れる事によって無意識に自然を荒らしている事に気がつくべきであると思います。小さな事から初めて、自然保護に努めていきたいと思います。ある程度大きな問題、たとえば、不必要なダム・山砂の採取 などなど皆で力を合わせれば防止できるものです。

今年は千葉県主催で「関東ブロック自然保護担当者会議」が10月27日(土)～28日(日)に開催されます。会場は 東大演習林内清澄宿泊所に決まりました。清澄寺の黒門のすぐ近くです。

ぜひとも、千葉県連盟の力前自然保護委員長合わせ関ブロ集会を成功させよう。

関東ブロック自然保護担当者会議とは・・・何？

- ・ブロックとは：全国を10ブロックに分けて、近県交流、地域活動を行っています。関東ブロックは、1都6県が参加しています。
- ・自然保護担当者会議とは：全国・関東規模の集会には、自然保護担、組織担当者、女性担当者、担当者会議などがあります。各県連盟の交流、担当者の学習などを目的に実施されています。関東ブロックでは、毎年交代の当番制で実施しています。
- ・今年は、10月27日・28日に東大演習林の施設をお借りして実施します。各県連盟の自然保護の取り組みが報告されます。千葉県連盟は、房総の地質、植生等についての報告を予定しています。・当日は、主催者としてのお手伝いの他に、大勢の皆様に参加していただき、ふるさと千葉の自然について学習をしてください。

問合せ先：自然保護委員長・菅井 (fa23475@wa3.so-net.ne.jp)

千葉県連盟ホームページ・事務局への問合せ まで

県連統一クリーンハイク計画

自然保護委員会

今年度は 七里川温泉の近くを行います

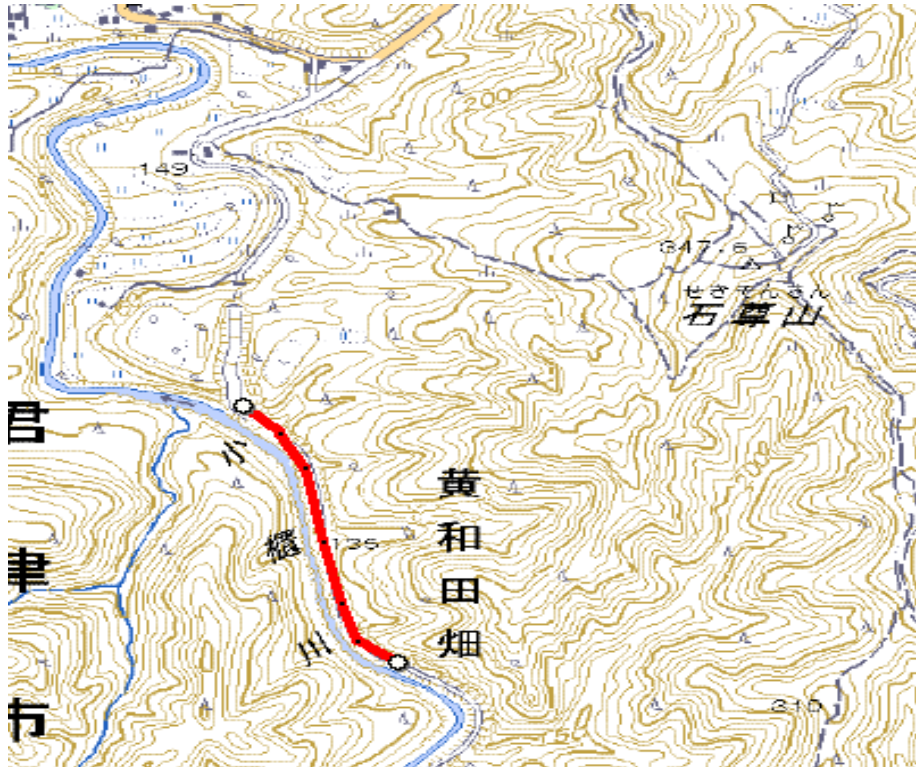
日 時 6月3日(日) 10:00~12:00

小雨決行です。

場所 下記の地図に示す太線の部分
川に降りる工事中の道路部分から手前トンネル付近までの
川と道路の間の斜面

集合場所 現地道路脇 9:40

クリーンハイク 10:00~12:00



収容のゴミ袋は 君津市指定の物を こちらで用意します
回収場所は斜面となっています。県連推奨のハイキング7つ道具を
持っている人は念のため持参ください。

電車の場合

千葉 7:27 五井 7:50 小湊鉄道 上総中野 8:58

千葉 6:38 木更津 7:28 久留里線 上総亀山 8:30

のいずれしかありません。参加者と参加方法をまとめて菅井まで連絡ください

23 次災害支援 (3/17～18)

理事長 吉田 哲治

千葉県連としては最後の支援となる今回は、9つの会より会員外も含めて28名もの多くの参加をいただきました。来月よりはNPO法人「ちば労山ゆう」が支援活動の主体となっていきますが、支援の内容はそう大きく変わることはありません。被災者・被災地に寄り添い、我々にできることをこれまでと同じスタンス・志しで行っていきますので、変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。

今回は、小学4年の岩本隼君が参加してくれました。これからの日本を背負っていく子供たちにこそ、被災地の現状を見てもらいたいと思っていたので、大変うれしく思いました。現地では、父親にしっかり見守られながら、みなさんと同じような作業をこつこつと一生懸命やってくれていました。

土曜日は雨で作業は午前中とし、午後は女川町から大川小学校の被災状況を見てもらいました。あの悲惨な現実を目の当たりにしたとき、彼は何を感じ思うのか、正直とても気になる場所だったのですが、また次回も参加したいという言葉聞いたとき、彼はしっかりと現実を直視し、現実を受け止めたのだと、頼もしく感じ入りました。

ボランティア感想文

岩本 隼 小学4年

(船橋勤労者山の会 岩本崇ご子息)

始めに僕がボランティアに行こうと思った理由は3月11日のテレビを見てぼくにも何か出来るかなと思ったからです。

ボランティアをして思ったことは、まだこんなに瓦礫が片付いていなかったんだなと思いました。被災した女川の病院を見たときは、こんなにも高いところに津波が来たんだと思いました。次は大川小学校を見たときはやっぱり津波は怖いなと思いました。

帰るとき見た瓦礫の山を見たときにまだまだ片付けが進んでいないと改めて思いました。また次回も参加したいです。



牡鹿 十八成浜
大平宅石垣復旧作業を終えて

カリタスジャパン被災地ボランティア活動に参加して

ちば山の会 村尾 憲治

他団体の復興支援ボランティア活動に個人として参加してきましたが、ご紹介をする事でご参考になる事もあるかと思い、レポートをまとめました。

カリタスジャパンは、国連認定の大規模国際 NGO の日本支部で今回東日本大震災の復旧復興支援をしています。震災直後から岩手釜石、宮城米川、石巻、塩釜の4か所を中心として、教会施設をベースとして活動がなされています。その中でも釜石ベースでは、早くから地域と連動して避難所や仮設住宅におられる被災者支援活動に取り組んで来ました。釜石市の約70ヶ所の仮設住宅団地の一部で集会室を利用して＜お茶っこサロン＞（無料の出張カフェサービス）を継続的に展開しており、仮設住宅の課題や被災者の声などを自治体へつないでいます。カフェサロンで集う事、話す事で悲しみや苦しみを少しずつ乗り越えて、被災した方々のそれぞれの復興への歩みを支援していく活動です。仮設住宅は、抽選による仮住まいで、様々な地域からバラバラの入居でしたが、そんな団地でも自治会が生まれています。



お茶っこサロン（仮設集会所）で手芸と折り紙



大槌町 写真返却展

また、家と共に流されて汚れてしまった写真やアルバムの再生（洗浄、整理、電子化、アルバム再生化、）と返却展へのサポートを行っています。ベースでも昨年夏ころまでは、物資の支援やがれき処理などが中心でしたが、今は、このようなインドアで（心のケアや自立心支援）の活動が中心となっています。

私は、この活動に9月、1月、3月と3回参加しました。今回は3.11を挟んで現地5日間（+往復夜行バス）でした。9月時点に比較すると街の復旧は少しは進みましたが、まだ復興とはほど遠く、瓦礫の山も大量に残っており、建物も解体はされていても再建は手つかずのエリアがたくさんあります。そんな中、仮設団地でのカフェサロンはかなり定着した感じで、1年を経て集う人の表情も随分と明るくなり、ボランティアリピーターや現地ベースの支援のみなさんの継続的な努力が実を結んでいると

感じました。再会したご年配の方や子供たちにも前回撮った写真を差し上げると大変喜ばれました。



仮設団地 孫とひ孫と



仮設住宅 子供たち

私がこの釜石ベースでの活動に興味をもち、リピーターとなっているのは、

- ① 被災した方々に直接お会いしお話しできる等、支援活動の反応が身近に感じられる事。
- ② 同じ気持ちを持つ全国からくるボランティアの方と友達になりチームで活動出来る事
- ③ 現地の地域支援者と継続的に交流できる事。 の3点です。

ボランティア参加メンバーは、大学生から 70 歳近くの方まで多彩な経歴の方が多く、寝食を共にしながら、いつも学ぶ事が多くあります。夕のミーティング等でその日の活動を振り返り、震災後の困難や悲しみの傾聴やこれからの復興について話し合いをします。



ベース内では大変温かい人たちの笑顔ある語らいにあふれており、常駐スタッフやボランティア同士の交流もあり、楽しく活動ができます。3.11 は日本でも世界各地でも追悼イベントや音楽イベントなどありましたが、私は、釜石カトリック教会で 14 : 00 から追悼ミサの準備・サポート、18 : 00 からは釜石駅前で追悼キャンドルナイトの支援しました。14 : 46 には、市のサイレンのあと、教会の大きな鐘を 3

人で綱を引っ張って大きく鳴らす事をしました。震災とボランティア参加がなければできない貴重な経験でした。私の役目の一つは、被災した現地で見たもの、聞いた事

や被災者に寄り添って感じた事などを帰葉して家族や友人・知人に伝える事です。そして 3.11 を風化させないよう、それぞれでできることに取り組み、微力ながら復興を支援していくことです。これからも被災者の目線に合わせて＜復興＞や＜支援＞の意味をよく考えながら、末長く見守って行きたいと思います。



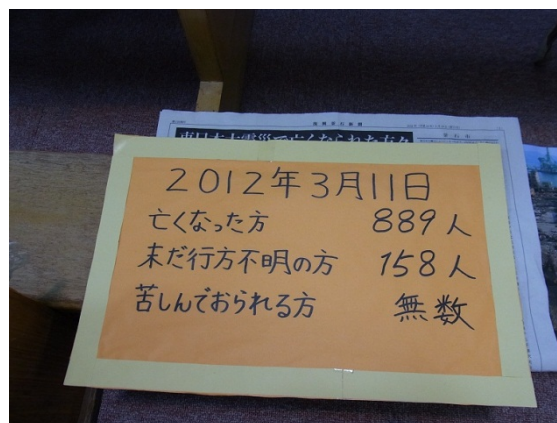
進まぬ復興



進まぬ再建



3.11 追悼ミサ



釜石市での犠牲者・被災者



復興の鐘を鳴らす女性



3.11 Candle Night

NPO 法人「ちば労山ゆう」正式に発足しました

NPO 法人ちば労山ゆう
理事長 吉田哲治

昨年 12 月 22 日に申請しました NPO 法人ちば労山ゆうは、3 月 7 日に千葉県庁より認証をいただき、21 日付けで法務局への登記も済ませ、無事船出することができました。先の県連総会で NPO 法人への入会を呼びかけたところ、これまでに正会員 41 名、賛助会員 33 名の登録をいただいています。多くのご賛同・ご支援に感謝申し上げます。「ゆう」は千葉県連の会員はもちろんのこと、我々の活動に賛同していただける方ならどなたでも入会できますので、これからも、県内のみならず全国へ入会の呼びかけを行っていきます。みなさんのさらなるご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。支援活動の輪をさらに大きく、強固なものとしていきましょう！

なお、NPO 法人になっても、支援活動の内容・方法等はこれまでと大きく変わるものではありませんので、支援参加の申し込み等は、当分の間これまでのやり方を踏襲していきます。各会の理事さん、取りまとめよろしくお願いいたします。

● これからの支援活動

宮城県連より石巻への支援の継続が要請されていますので、4 月以降も災害支援は石巻へ入る予定です。支援は月に 1 回とし、年内の予定は下記になりますが、受入れ先等の都合により日程が変わる場合があります。いずれも前夜発です。

4 月 28 日（土）～30 日（月）	5 月 12 日（土）～13 日（日）
6 月 16 日（土）～17 日（日）	7 月 14 日（土）～16 日（月）
8 月 17 日（金）～19 日（日）	9 月 15 日（土）～17 日（月）
10 月 6 日（土）～8 日（月）	11 月 23 日（金）～25 日（日）
12 月 15 日（土）～16 日（日）	

* メンタルな支援も行っていきたいと思っています。仮設住宅等での落語高座を計画しています。

● 入会のご案内

どなたでも会員になることができます。

■ 会員種別

正会員：この法人の目的に賛同する個人及び団体
総会において議決権を有します

賛助会員：この法人の事業を援助する個人及び団体
当法人の活動を財政面から支援します

■会費（年会費）

正会員： 3, 000円

賛助会員： 1, 000円

被災地へ災害支援に行かれる方は、ボランティア保険に加入してください。年間保険料（震災タイプA 490円）は自己負担、加入の手続きは当法人にて行います。

* 当法人の定款等は「千葉県NPO情報ネット」よりご覧いただけます。<http://www.chiba-npo.jp/index.html>

入会ご希望の方は、下記の申込書を次のアドレスへ送付してください。
NPO法人ちば労山ゆう事務局長 角掛詢子 tsunojun@my.email.ne.jp

会費納入先

郵貯銀行口座が開設しました。会費は下記口座に振り込みをお願いします。

ゆうちょ銀行 口座番号 00240-8-98419
 加入者名 NPO 法人ちば労山ゆう
 代表者 吉田哲治

ちば労山「ゆう」よりのお願い
 「ゆう」は皆様のご要望にそった運営を心がけて行きます。
 ご希望、ご意見をお寄せ下さい。
 連絡先：千葉労山「ホームページ、事務局への問合せ」まで
 お願いします。

.....

入会申込書

正会員		賛助会員		(いずれかに○を付してください)	
お名前			所属会		
ご住所	〒				
TEL			e-mail		

- * ご記入いただきました個人情報は、当法人の運営・管理のため使用いたします。それ以外の目的には使用いたしません。
- * 当法人内での連絡は電子メールを主体に行いますので、e-mail お持ちの方はご記入いただきますようお願いいたします。

県連たより

県連盟連絡先

- ◎ 千葉県勤労者山岳連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX: 043-306-1190
Eメール: rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
- ◎ 千葉県連ホームページ
<http://www.cwaf.jp>
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
newstoukou@cwaf.jp
- ◎ 事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax: 043-271-4704
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず
送付の事
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東北関東大震災・支援金振込み先
口座番号: ゆうちょ銀行
00130-7-595190
加入者名 佐藤 勝子
〒272-0023
市川市南八幡 1-25-16

★ 助けてください

事務局のお手伝いをお願いします。

事務所の片付け・資料の整理などを、空いた時間でお手伝い下さい。一人でもお友達と一緒にでも大歓迎です。

連絡は: 広木まで・連絡先

県連盟よりのお願い

◎ 東日本大震災支援活動

千葉県連盟では、NPO法人を中心にして支援活動を継続します。大勢の入会をお待ちしています。問合せ・ご意見は県連ホームページ「事務局への問合せ」まで。

☆ 総会で感じた事 ☆

・第46期総会は、会員数778名でむかえた。昨年より22名の拡大である。一昨年の35名には及ばなかったが大きな勇気をいただいた。
・「ちばニュース」を778名全員に届けたいと思う。現在の方法で良いのだろうか? 見直しの時期かも知れない。各会の意見を聞きたい。
・今回、代議員の委任状が出された。県連規約には、委任状に関する事項はない。一般的な取り扱いとして処理した。総会に参加出来る人の中から代議員を選出しているのが一般的な選出方法だろう。

今後、参加者+委任状で、かろうじて総会が成立するような事態にならない事を願いたい。

・毎年、直前になるまで決定しない議長。今年は、松戸山の会が快く引き受けて選出していただいた。見事な采配に感謝します。さすがは前事務局長、一日も早い、県連役員に復帰を願望します。

danphiro@zpost.plala.or.jp

県 連 活 動 予 定 表

4月			5月	
1	日		1	火 役員会(変更あり)
2	月		2	水
3	火	役員会	3	木
4	水		4	金
5	木		5	土
6	金		6	日
7	土		7	月
8	日		8	火
9	月		9	水
10	火		10	木
11	水		11	金
12	木		12	土 NPO支援活動
13	金		13	日 //
14	土	沢ネット交流山行	14	月
15	日	//	15	火
16	月	女性委17時～19時 救助隊 19時	16	水
17	火		17	木 理事会
18	水		18	金
19	木	理事会	19	土
20	金		20	日
21	土		21	月 救助隊例会
22	日		22	火
23	月		23	水
24	火		24	木 拡大部会
25	水		25	金
26	木	拡大部会	26	土
27	金		27	日
28	土	NPO支援活動	28	月
29	日	//	29	火
30	月	//	30	水
			31	木

発行者 千葉県勤労者山岳連盟
 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
 レジデンス幕張本郷 101号
 TEL・FAX 043-306-1190(事務所には常駐していません)
 Eメール rousanchiba@grape.plala.or.jp
 発行責任者 吉田 哲治
 編集責任者 広木 国昭